研究の構想

【日本国憲法】
【教育基本法・学校教育法】
【小学校学習指導要領】
【さいたま市の学校教育目標】

＜学校教育目標＞
すすんでまなぶ子（知）
たすけあう子（徳・コミュニケーション）
げんきな子（体）

【児童の実態】
【保護者の願い】
【地域の願い】
【社会の実態】
【社会からの要請】

＜研究主題＞
自ら学び、自ら考え、生き生きと表現し合う児童の育成＜国語力向上＞
～言語活動の具体化とラーニングスキルの習得を通して～

日々の授業の充実

カリキュラム・マネジメントの充実

知識・技能

学びに向かう力

思考力・判断力・表現力

言語活動の具体化
ラーニングスキルの習得

主体的な学び

1　児童による授業の進行
2　児童による学習課題・学習計画の設定
3　単位時間の学習過程の明確化
4　学習スタイルの可視化
5　学習の見通しと振り返り
6　学習環境の整備

対話的な学び

1　司会・報告などの役割の明確化
2　交流を重視した学習形態（個・ペア・グループ・全体）
3　目的に合わせた対話（協議か討論か）
4　相互評価

深い学び

1　モデル学習の重視
2　付けたい力と言語活動を明確にした単元計画
3　ＰＷＣシートの充実
4　習得→活用→探求の流れを意識した単元計画の作成
5　思考操作言語の活用
6　思考ツールの活用
7　言葉による見方・考え方の重視
8　他教科・他領域との関連
9　ICT の活用

言語活動の整備と充実
言語環境の整備

語彙力

言葉のたからばこ
辞書引き

学校における学びの環境
教師・保護者・地域・ＰＴＡ・学習支援ボランティア・図書ボランティア・友だち
学校図書館・ＰＣ教室・広い校庭　など